

## 「100DIVE」と「JRE Station カレッジ」は、 3地域でローカルビジネス創出に挑むプロジェクトを開始します

- 株式会社100DIVE（代表取締役CEO：庄司 弥寿彦、以下「100DIVE」）と東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR東日本」）は、地域課題をテーマにしたビジネスの創出に向けて連携します。
- 新潟県三条市、長野県小海町、熊本空港周辺エリアにおいて、「100DIVE」とJR東日本が運営する「JRE Station カレッジ」がタッグを組み、地域課題を解決する新たなビジネスを生み出すためのプロジェクトを2023年6月から開始します。

### 1. プロジェクト実施要項



対象地域	新潟県三条市	長野県小海町	熊本空港周辺エリア
テーマ	<p>燕三条のものづくり産業の魅力と価値を高める仕組みを創出せよ！</p>  <p>新潟県三条市 ものづくり産業の魅力と価値を高め、 伝えていく新たな仕組みの構築</p>	<p>松原湖を中心に町全体の観光をリデザインせよ！</p>  <p>長野県小海町 松原湖を核とする町全体の観光デザイン 魅力的な資源を活用したビジネス創出</p>	<p>熊本空港を中心に周辺地域を盛り上げよ！</p>  <p>熊本県 熊本空港を核にし九州を盛り上げる ローカルビジネスの創出</p>
プロジェクト採択決定者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三条市長</li> <li>・JR東日本新潟支社長</li> <li>・株式会社ドッツアンドライNZ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小海町長</li> <li>・小海町総務課係長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社さとゆめ</li> <li>・熊本国際空港株式会社ほか</li> </ul>
実施概要	<p>実施期間：2023年6月～8月（全5回のセッション+α）                      公募人数：テーマごとに最大9名程度                      ※応募する方は下記HPよりお申し込みください。  <a href="https://100dive.co.jp/202306-2/">https://100dive.co.jp/202306-2/</a>                      ※三条市は定員に達しており、キャンセル待ちを受け付けております。                      参加費用：¥50,000(税込)                      ※現地までの移動にかかる交通費や宿泊費などは各自負担。</p>		

※JR東日本では、新潟県三条市において、上越新幹線燕三条駅構内に2023年2月に開業した、ものづくりコンシェルジュ付きコワーキングスペース「JRE Local Hub 燕三条」を会場として開催します。

### 2. 連携の内容

第4期を迎える「100DIVE」は今回、「JRE Station カレッジ」と連携してローカルビジネス創出に挑戦する参加者の事業化サポートをさらに促進していきます。企業人をターゲットにプログラム化された「JRE Station カレッジ」の講義内容の一部を第4期の「100DIVE」参加者にも提供することにより、ビジネス創発の可能性を高めていきます。

## 別紙

### 「100DIVE」について

全国約40エリアで地方創生事業のプロデュースを行う株式会社さとゆめ(代表取締役：嶋田俊平、以下「さとゆめ」と)と、日本最大級の異業種混合型リーダーシップ開発プロジェクトを提供する一般社団法人ALIVE(代表理事：庄司 弥寿彦、以下「ALIVE」と)が共同事業として運営しています。3カ月の期間で実際に地域のフィールドワークを重ね、「チームビルディング⇒フィールドワーク⇒最終提案⇒振り返り」を行います。現業の立場や複業・プロボノ的にプロジェクトに緩やかに関わりながら、関係性を深めることを目的としています。

詳細：<https://100dive.co.jp/>

SESSION 1	SESSION 2	SESSION 3	
<b>チームスタート!</b> (顔合わせ&テーマ理解)	<b>課題の深掘り・提案の方向性決定</b> (情報収集と考察、フィールドワーク)	<b>提案のまとめ&amp;中間プレゼン</b>	
			
目的やスタンスを合わせ、進め方などをチーム内で確認して決定していきます。	地域に入ってフィールドワークを行い、地域の方々と直接話して方向性を改めて検討します。	地域に向けて中間プレゼンを行います。最終プレゼンに向けてのリフレクションや事業計画の書き上げの場となります。	
SESSION 4	SESSION 5		
<b>最終プレゼン</b>	<b>結果発表&amp;振り返り</b>		
		地域に向けて最終プレゼンを行います。約3か月かけてチーム内でまとめた、最終的な課題解決の提案を伝える場となります。	



### 「JRE Station カレッジ」について

地域の拠点である駅をキャンパスとして、課題発掘型のリーダー人材を育成し、サステナブルビジネスを生み出すための学び場です。年間200以上のプロジェクトを創出する研究者集団である株式会社リバネスとの協業により2021年からスタートしました。年齢、業種、立場を超えて、誰もが知識をアップデートし続け、課題意識と情熱でつながる人財のネットワークを増幅させ、地域の課題を持続可能な形で解決するエコシステムの構築を目指します。

詳細：<https://jre-station-college.jp/>

